

It must be a wonderful day today

THE ICLEEN KONNO NEWS

Sure, it's important to give everything you do all you've got. But sometimes you also need to let yourself relax.

平成二十五年六月二十五日発行 / 編集人：原 淳 / 御意見・御要望はサイボウズにて「ATM、Can Do盛り合わせ号」

ド変態ナイト潜入レポート! 鴨頭嘉人さん主催 異業種店長交流会



東京営業所長の黒川です。先だって、あの鴨頭嘉人さん主催、異業種店長交流会に参加して参りました。東京下北沢で二〇時開始、会場は、あの居酒屋「つべん」さんです。(つべんについては各自で検索して下さいね)。この日は、サッカーW杯アジア最終予選の豪州戦、本大会出場がかかった大一番。店内は、百インチ超の大画面で、試合放映の真つただ中、食い入る様に見守るお客さん達。「さすが鴨頭先生、このタイミングでこの会場、何か思慮深いお考えがあつての事に違いない」「ん？案内されたこのテーブル、全員座ると、肩が触れてしまふ。凄いな！密着度を高めるのもさうと何かの作戦に違いない」「会も始まらないうちから筆者のボルテージはMAX状態である。そこへ登場した鴨頭先生、そんな会場を見て、アシスタントの方とともに、暫く姿が見えなくなつたと思つたら、戻つて来られ、開口一番は、場所変えまーす！「なんと！只の手配ミスだつた！圧倒的に足りない席数もさることながら、日豪戦一色の居酒屋では、さすがに勉強会は難しく、何より、この日がそんな大試合当日だという事を鴨頭先生は、全く知らなかつたという事実が、後の自己紹介で知らされる事となる。さて、移つた先は、カラオケボックスの大部屋で、マイクで話す鴨頭先生の後頭部をネオンスポットが照らしまくつてゐる！さて、そんなこんなで、予定の二〇時を三〇分ほど過ぎた頃、鴨頭先生からようやく本題が伝えられる。この日の場に集まつた、鴨頭先生曰く「ド変態」達は、総勢十四名、しかもその内五名は、このグループで占めてゐるのだから、我らのド変態、ぶりもなかなかのものである。その五名とは、アイクリン春日部黒坂所長、こんの八王子古川所長、同春日部安藤所長、同坂鶴山口所長、そして筆者である。鴨頭先生の影響からか、三分の一の方が、マクドナルドでの就業経験者であり、現職は、ラーメンチェーン店の店長、携帯ショップの店長、不動産デベロッパーの所長、自然食をコンセプトにしたカフェオーナーまで、幅広いラインアップだ。そして、今回の目的は、ズバリ、異業種間の店長達の悩みを共有しながら、参加者

全員でシェア・フィードバックしようというもの。鴨頭先生自身は、二冊目となる著書出版に向け、情報収集も兼ねてゐるとの事。この交流会で、著書に反映されるかも...というところから、なんと今回の参加者の名前が、著書のクレジットに名を連ねる？という特典付きで今から発売が楽しみである。肝心の交流会の、進行方法はどういうと、ポストイット・ブレインストーミング(各自で検索して下さいね)形式である。一般的なものとは、ひとつ異なつてゐたのは、ポストイットに書かれて出されたものに皆で意見を出し合うというよりは、経験豊富な鴨頭先生が、身振り手振りで一つ一つ丁寧に自身の体験と併せてアドバイスやレクチャーをしてくれたということ。さて、本紙読者におかれては、今年の「新春の集い」講演会を思い出して欲しい。この日の参加者達は、あの本気のトーク・熱気を、文字通り目の前にして、二時間半の間、浴び続けたのである。当初二十二時に終了予定だつた交流会は、鴨頭先生の暴走モードから、一時間をあつという間にオーバー。勢いが一向に衰える事の無いまま、二十時を過ぎ、慌ててお開きへと、まさにジェットコースターの展開。そして会が終わる頃の筆者の心境はというと「ああ、今回も見事にマフちやつたなあ。最初気になつて仕方なかつた日豪戦の結果なんてもうどうでも良い！鴨頭ジャパン最高」と、またしてもすつかり「ド変態」に調教されてしまつたのである。この夜、渋谷では、DJポリスと、W杯出場決定に酔いしれるサポーター達が一体となつて盛り上がりつゝ、そこから程近い、下北のカラオケボックスでは、「加茂ジャパン(古)」ならぬ、「鴨ジャパン」が「エネルギー」を大量注入され、皆放心状態になつてゐたのだつた。そしてなんと、このあと深夜一時から、第二部が開催されるとの予告宣言！これには、さすがの我々「ド変態」達も、「戦略的撤退」以外の選択はなかつたのである。しかし、恐るべきは、鴨頭先生、まったく疲れを見せないまま、我々第一部の参加者を送り出した後、第二部の会場も決まらぬままに、再び、夜の北に消えていくのであつた。「ド変態」達の夜はまだまだ終わらなそうにないらしい...

嬉しい出来事、お話しします。

▼こんにちは。ドトルコーヒーショップ福島野田店の渡辺直樹です。主に朝オープンからのシフトで、PAとして、約二年間勤務させて頂いていただいております。今話題の、「Can Do」的な出来事がありましたので、ご紹介いたします。▼今月五日、いつものように朝十時の開店に向け、わたしは、オープン業務に就き、開店準備をしていました。すると九時半頃に、四〜五十代くらいの女性のお客様が、一人で来店されました。「もう、大丈夫ですか」と尋ねられたので、「申し訳御座いませぬ、十時からのオープンになります」と答えたところ、「急いでいるので、ケーキだけ、どうしても買いたいのですが」とおっしゃいました。ケーキだつたら、既にケース内に出し終えていて、すぐにお渡しできると思つたのと、開店前だからといって、このままお客様を帰してしまふというのも大変申し訳ないと思ひ、正木店長に許可をいただいて、販売することにしました。店長も手伝つて下さり、とても素早く用意できました。その間、そのお客様は、店頭で陳列しているコーヒーマーカーに興味を持たれたようで、店長に豆・フィルターについても質問され、一通りの説明を受けて、納得された様子で「これも一緒に」と、コーヒーマーカーも購入してくださいました。そのお客様がお帰りの際、とても満足した表情を浮かべていらつたことが、何よりも嬉しく感じました。▼正木店長は常に、私達がお客様に何をしておあげられるか、出来ることをして差し上げることが大事だと、おっしゃっています。日々、うちのお店には、多くのお客様がご越しになりまして。商品を買っていただける方、お年寄りの方、お子様連れの方、様々なお客様が来られるなかで、自分が何を差し上げられるのかについて、改めて考える事が出来ました。これからも、一人でも多くのお客様に、御満足いただけるよう、頑張つて参ります。(編・写真左端のイケメンが、渡辺直樹さんです。)



素敵な副賞 有難う御座います!



▼八王子営業所の波多野です。今年の新春の集いで頂戴した優秀社員賞副賞「愛犬と一緒に旅行する温泉宿泊権」で、伊豆高原へ泊旅行に出かけて参りました。社長、所長のお心使いにより、我が家の二人?のワン子とのお泊り旅行です。大きい子が大吉、小さい子が豆吉と申します。豆吉は里子に出されていて、昨年末に我が家の子になりました。人間生活にも少しずつ慣れてきたので、今回お泊り旅行に...。全てが彼にとつて、初めての経験で、宿泊先で相性はしなかつたか、長時間のクルマ移動は大丈夫か等々、色々考えながら準備しました。天気予報も気にしなかつた。と言ふのも、実はわたし「雨女」なのです。旅行に行くに必ず一回は雨に降られる。今回も、天気予報では一日目が雨予報でした。対策として、初日の晴天の間は、全ての遊びをしましうと、急遽予定変更、早朝四時半出発で、いざ伊豆へ。まずは観光船に乗り、外海へイルカウォッチング。出会えたのはカモメさんです。天気も良く、初島がとても綺麗に見えました。お次はシャボテン公園。ここには、動物も沢山いるのですが、ワン子達も一緒に大丈夫。入れないエリアもありますが、基本的には全てオーケーです。動物が動物を見学する光景を考えると、笑つてしまいますよね。豆吉は終始キョロキョロとしていて、何もかもお兄ちゃんより大きいので驚いてる様子でした。ロバさんの前ではじつと動かし。強制退去いたしました。なんといつても、カピバラがかわいかった。ヌボウとした、大きなお顔に癒されました。お昼は、事前にリサーチしておいたドッグカフェ、伊豆高原の「アップカフェ」さんです。オーナーさんが写真を撮つて下さり、お店のブログに載りました。お次は城ヶ島の吊橋。大吉と私は、高い所が好きでして、約一名の意見は却下。この日は風がかなり強く、吊橋がゆらゆらと、とても楽しかったです。そしてペンションへ到着。お部屋に着くと、サブライズのお手紙が！とても感激しました。冷蔵庫には冷たいビール。再び感激！そしてお部屋には露天風呂！さうさくどちろん堪能いたしました。夕食は、伊豆名産金目鯛、香草を利かせたトマト煮込みです。なんと贅沢なお食事を頂きました。お部屋に戻り再び露天風呂。星を見ながら堪能し、翌朝は、昇る陽を眺めつつ朝風呂。気持ちよかったです。帰りは雨予報だったので、ゆつくりとお土産を買ひながら、あつちへ寄り、こちに寄りつつ、帰路に着き、自宅近くでポツポツ雨が。ここのように、雨女発揮！今回この様な素晴らしい賞を頂き、有難う御座いました。これからも職務に対し、真摯に取り組んで参ります。